

議会及び議員の活動目標と評価を公表します

下川町議会基本条例では、議会及び議員の活動内容を公表し、議会活動の活性化を図るとともに活動状況を議会白書としてまとめ、自己評価し、その結果を1年ごとに公表することとしています。

今回は、令和5年の目標、令和5年の評価、令和6年（令和6年5月～令和7年4月）の目標の一部を公表します。全体につきましては、議会白書に掲載しておりますのでご覧ください。



下川町議会白書
令和5(2023)年
定例会版

令和5年目標 親しみやすく接しやすい議員・議会活動を目指して井戸ばた会議等の広聴広報活動の充実を図る。また、行政と議会が車の両輪となって町と町民の皆さんのための政策提言の実現を目指すとともに、「議員のなり手不足解消」に向けてリモートを含めた議員研修など検証と研究を進める。

令和5年評価 従来の「井戸ばた会議」からテーマ自由・出入り自由な「議員とフリートーク」を3回実施し、町民が抱える課題の把握と解決に一定程度繋げることができたと思われる。

令和6年目標 「議員とフリートーク」などを通じて町民の要望などの把握や抱える地域課題を議会全体で共有するとともに、その課題の解決に向けて政策提言を行う。
議会モニター制度の今後の在り方について検討を行う。

効率的で効果的な議会運営のための環境整備として、議場でのタブレットの活用など議会のデジタル化を推進する。



下川町議会



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議長

令和5年目標 理事者との協議や町内外で議会を代表する場面において、自覚と緊張感を持って臨む。

町の最終意思決定機関として責任を果たすため、委員会審査での議員間討議や議会活動の活性化に取り組む。

令和5年評価 議会と理事者の新しい関係を意識した活動に心がけた。

議会活動の活性化という目的を意識しつつ、議員間討議の活性化を促進した。

令和6年目標 理事者との協議や、議会を代表する場面において、引き続き自覚と緊張感をもって臨みつつ、議会に対する親しみやすさを自ら体現していく。

令和5年目標 親しみやすく接しやすい議員活動を常に心がけて、町民の皆さんの声を町政へ届け、地域の課題が少しでも解決するよう努めるとともに、住民サービス向上のため円滑な町政運営が行われるよう行政と議会の潤滑油的役割を果たしていく。

令和5年評価 地域の課題把握と解決に向けて「議員とフリートーク」を始め、各種研修会、各団体の総会などに積極的に参加する中、町民からの意見や要望などの把握を行い、速やかな対応に心がけて諸々の課題解決に繋げることができた。

令和6年目標 親しみやすく接しやすい議員活動を通じた町民の意見・要望の把握と可能な限りそれらに対する回答を明確に行う。



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員